

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 unico粕屋			公表日	2026年4月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・年齢的に園庭のような空間があるとより良いと感じており、その都度広場に行って対応している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			・教室内には死角もあるが、スタッフの人数やその場の状況に応じて、環境を整え安全管理の連携を図っている ・玄関とフロアの境目の部分は視覚的に分かりづらい部分も見られる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・子どもたちの足の裏が汚れる事も変わらず見られるが、水道にマットを配置したり床掃除は意識している、毎週末清掃箇所を設定して偏りなく環境整備を行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・日々のリフレクションや研修などで目標を振り返る機会を設けている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・日々の振り返り・子どもたちの情報共有などを行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者による外部評価は行っていないが、定期的に本社の職員による評価を行い改善に努めている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・もう少し連携方法については工夫が出来そうと感じている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・行動についての分析を行っている	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・毎月活動についての立案をチーム内で話し合う機会を設けるだけではなく、準備や実行を全体で行っている
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・じっくり遊びこむ経験として、同じ活動でもレベルアップしたり展開したりと心掛けている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・どちらも経験ができるように取り入れている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・どちらも時間厳守で行い、良い時間になるよう努めている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・どちらも時間厳守で行い、良い時間になるよう努めている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域の高校での活動の試みができた為、継続して関わりも持っていきたい。また小学校やその他の地域の関係機関と連携した活動も出来たらと検討している
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・送迎時でやり取りを行っている ・保育所等訪問支援の機会に連携を図っている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	(31は、事業所のみ回答)				

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	・担当者会議や電話連絡、書面にて情報共有は行っている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・外出や散歩等の機会で他の子どもたちとの交流はある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・送迎時やデイロボの連絡帳にて支援方法等の共有は行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・親子イベントや今年度より年に2回個人面談にて保護者との情報共有する機会を設けている	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	・3か月に1度親子イベントを実施し、保護者同士のコミュニケーションの場を設けている	・親子イベント以外の保護者同士の交流は希望された方もいたが設定できていない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	・デイロボ連絡帳での様子やがくぶり、Googleフォト等を通して発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
非	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		

常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・避難訓練実施にはがくぷりにてお知らせをしている
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・死角になる場所が多い為、人員配置やマット設置などをして再発防止に努めている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	保育所等訪問支援 unico粕屋		公表日	2026年4月29日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。			保育園さんにあるもので支援方法を検討をしている	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		現在1名で訪問に何っている状態	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		2回目の評価である為、より良いサービス提供に抜けて工夫や改善を行ってきたい。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		2回目の評価である為、より良いサービス提供に抜けて工夫や改善を行ってきたい。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定着研修として毎月実施している	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		保育園の中での様子から子ども主体の目標設定をしている	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		より良いサービス提供に向けて工夫や改善を行ってきたい	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育園での様子はスタッフ間でも共有している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		記録を取り、保護者の方にも情報共有をその都度行っている	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		訪問先との連携を軸に今後より体制を整えていきたい
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○	参考資料や内部研修より支援の質向上に向けて取り組みを行っている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		記録を取り、保護者の方にも情報共有をその都度行っている 子どもたちのどの場面を見てほしい等引き続き保護者と連携をとっていきたい。	
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		情報共有を行いご家庭で取り組める関りについて相談助言を行っている		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	児童発達支援unico粕屋と同事業所内の為、児発の取り組みとして親子イベントを定期的に開催しご案内している	

	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		児童発達支援と併用のご家庭には、送迎時に担任の先生方と様子の共有をし連携できるようにしている	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		※訓練は児発実施に参加する形を取っている	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 unico柏屋		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 1日		～ 2026年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 1日		～ 2026年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な体験や学びに繋がるワークショップ活動の機会提供	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの成長や興味を見ながら、多様な体験や学びに繋がるワークショップ活動を実践している。 「どうすればできそうか」を考え、活動内容のジャンルが偏りが出ないようにスタッフ内で共有し、幅広い体験に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安定して幅広いジャンルの活動を提供できるように、運用方法を工夫する。 子どもの“やりたい”・“挑戦したい”に繋がる提示方法を工夫する。
2	子ども一人ひとりに合わせた支援と信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の研修や毎日の振り返りで子どもの困り感を共有し、支援の質の向上とスタッフ間の意識の統一を図っている。 子どもの表現している事をそのまま受け取り、子どもとの間に安心できる関係性を築き、子どもが自ら選択できるように育つ力を支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが自分で育つことを自ら育つことを常に目的として共有し、毎日の振り返りで継続的に成長や変化に対する支援方法の一致を図る。(振り返りの方法も変化させながら質を向上)
3	保護者へのコミュニケーション連携	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳アプリでの支援方法の共有や、年に2回の懇談会、モニタリングでの情報共有を実施。 特記の際は詳しく説明するなど、安心できる対応を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> より情報提供している内容に気付いたり見ていただきやすくなるようにコミュニケーションを図っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援方針に基づいた保護者様や関係機関とのさらなる連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 個々に応じて、ねらいに沿った支援をしておりますが、より保護者様や関係機関にも分かりやすい伝え方の工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援のポイントや狙いを言語化した書面を作成・共有するなど、保護者様や関係機関への情報伝達を円滑にする。
2	周囲とのつながりを感じていただけるようなイベントの企画やご案内	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に親子イベント等の企画・実施はしておりますが、より繋がりを感じられるような工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様のニーズを確認しながら必要に応じて交流が持てる機会を増やすなど内容の充実を検討する。
3	保護者様の安心に繋がるような事業所の対応や取り組みに関する情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> 法令に基づき、各種研修や訓練などを実施し、実施内容のご報告をお便りにて保護者への周知を行っていましたが、より気付いていただきやすい周知方法が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 口頭でも共有するなど保護者様に確実に目を止めていただくような周知方法を検討する。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 unico粕屋		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 1日		～ 2026年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 1日		～ 2026年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 1日		～ 2026年 2月 21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5施設	(回答数) 5施設
○事業者向け自己評価表作成日	3月11日		

分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先の保育園・幼稚園・学校との情報共有	・ unico粕屋教室での子どもの様子や関わりなどについて、訪問時の振り返りの際に、保育園での流れも把握した上で情報共有をし、より良い関わりについて一緒に考えている。	・ 訪問先にも内容が分かるように支援内容などを分かりやすくまとめ共有することで、保育園でもその後の支援に活かせるようなど工夫する。
2	訪問後の記録と保護者へのフィードバック	・ その日のうちの記録を取り、保護者にも伝わりやすい言葉に置き換えながら、その子自身の見立ての共有、関わりの部分等も交えてフィードバックをしている。	・ 訪問記録は残しているが分かりやすく箇条書きで内容をまとめて、必要に応じて保護者も『みて』確認が出来るように連絡帳アプリにも記載をする等共有方法を工夫する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先との連携の質の向上	・ 訪問先の方々と都度情報交換は行っているが、限られた時間の中でより密に連携を取れる方法を見つける工夫が必要。	・ 内容に応じて口頭だけではなく、書面にて共有するなど、目的に応じた連携方法も検討していく。
2	地域関係機関との更なる連携強化	・ 必要に応じて併用している事業所の様子を見学に行くなど、連携が取れるようにしているが、併用事業所との連携がより密にとれる工夫も必要。	・ 他事業所に通っているお子様は、交流が持てるような機会を設定するなど、より充実した連携方法を検討していく。
3			

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年4月29日

保育所等訪問支援 unico粕屋

利用児童数

利用児童 8名/関係機関 5件

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活でももっと取り入れたいので共有できればいいなと思っています。 ・対象児への声掛けの仕方、タイミング等、その子に合った関わり方を丁寧にご助言いただきました。 	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味を引き出しているなど毎回思っています。いつもありがとうございます。 ・具体的なその日の対応方法をお話して下さるので、次に同じ姿が見られた時取り入れやすかったです。 	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	80%	20%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対して寄り添って下さるが、療育の対応を具体的に教えてほしいです。 ・その日の対応をお聞きした際に、本児の様子の変化や対応をお聞きして勉強になることがあります。 ・本児の様子の情報共有をしていることが多く保育をしながらのため質問までできていませんが、その日の様子の対応はお伝えいただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加配の先生方にもunicoでの様子などを共有させていただいていますが、よりやりとり方法などの共有ができるように努めてまいります。 ・情報共有する時間など改善ができるように検討いたします。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・園での姿や療育での姿を聞いたり見てもらえ具体的な話ができるのはありがたいです。 ・まだ難しいこともありますが少しずつ穏やかに関われるようになってきたように思います。 ・月1回のことで、すぐには難しいと思われませんが、少しずつ集団生活を楽しめる場が増えていくことを願っています。 	
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・満足しています。いつもありがとうございます。 ・訪問していただいた時には、本児はとても喜び、1体1で対応してくださっていることに助かっています。 	
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・本児がunicoさんに通うようになり、お話が上手になり粘土遊びなど得意なことが増えて成長を感じられています。また、園に帰ってきてからもunicoさんでした活動のお話をしてくれたりもします。今後も本児の成長を情報共有しながら見守っていかねばと思います。 ・日々の保育とは異なる視点で、子どもへの関わり方や援助の方法について具体的に教えていただき、大変勉強になりました。普段の保育を振り返るいい機会となり、今後の保育に活かしていきたいと感じています。ありがとうございます。 ・いつもお忙しいなかありがとうございます。次回訪問時についてのお電話をした際に、毎回アドバイスをいただけるのでありがたいです。電話の際に子どものそんな姿をみたいのかももう少しすり合わせをしながらできればと思います。 ・第三者という目線で学校の様子を見ていただき、保護者の方へお伝え頂いたことで、保護者の方の安心感につながったように感じます。その保護者の方の反応も学校へお伝えいただき助かりました。 					<ul style="list-style-type: none"> ・いつも受け入れてくださりありがとうございます。本人の成長部分など日々の情報共有することができ嬉しく思っております。 ・保育園さんで行っている関わり方から子どもたちがとても伸び伸び過ごされている様子が訪問する度に感じられました。 ・保護者との情報を保育園さんともより行き、具体的な場面の共有ができればと思います。 ・先生との関わり方から本人が安心して居る姿、勉強に対して自信をもちはじめている姿を見て、こちらも嬉しい気持ちになりました。引き続き情報共有を行いながら連携がとれるよう努めて参ります。 	